



ともに創ろう! 未来につながる

安心室蘭

ひろとも通信



オリーブの花言葉は「平和」「知恵」です。

室蘭市議会議員 滝口 紘子 たきぐち ひろこ

みなさんこんにちは。いかがお過ごしですか?昨年の5月に2期目をスタートさせていただき、約1年が経過しました。新人議員が7名、また女性議員が6名に増加し、定数の3割になりました。「女性の管理職を3割に」「審議会での女性の割合を3割に」という目標がありますが、これは「黄金の3割理論」というのがベースになっています。少数派も3割を超えると意思決定に影響を及ぼすことができると言われております。

私自身は、1期目と2期目は少し立ち位置が変わった感覚があり、今まで以上の勉強や視野の広さが必要だと痛感しております。

1/1に能登半島地震が発生しました。改めて平時の備えや意識の大切さに気付かされました。お亡くなりになられた方のご冥福と、一日も早い復興を心よりお祈りしております。北海道で起きると言われている巨大地震では、室蘭の最大津波高は9.4mと予想されております。また傾斜地の多い本市は、土砂災害のリスクもあります。命を守る防災対策をしっかり求めていきます。

今後も、市民のみなさんと一緒に少しでも暮らしやすい室蘭を創っていただけるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議会報告

1 こども基本法について (2023/9)

全てのこどもが、権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会を目指す内容。こどもの権利条例の制定を求めましたが、「市町村こども計画」を進めるという答弁。

こどもの意見を聞く場の創出のほか、こどもが直接相談できる等 こどもの権利を救済する仕組みの必要性を訴えました。



2 いじめについて (2023/12, 2024/3)

●スクールロイヤーの配置と重大事態への対応について質問。重大事態になって初めて「いじめの認知」がされるケースが全国的にも約4割。早期のいじめ認知や解決には、スクールロイヤーや首長部局にいじめの認知から解決まではかる組織を置くこと等、第三者の視点で判断・対応することの重要性を訴えました。

→令和6年度の教育行政方針に道教委の「学校における法律相談支援事業」の活用が記されました。



●スクールカウンセラーの市費による時間数の上乗せも求めました。気軽に相談でき、小さな変化を見逃さない、そういう第三者の視点を十分に発揮するためにも、道費のみの時間数では不十分。

→令和6年度からスクールカウンセラーの時間数が上乗せになりました。

●重大事態発生時の第三者委員会について、調査中および報告書公表時の委員名の公表を求めました。

→調査中の案件は「その都度判断」報告書公表時は「原則公表しない」という表記の改訂を検討する、と答弁がありました。

3 高砂ベンゼン問題 (2023/6, 9, 12, 2024/3)

R6年度の予算を入れて、この事故に関する費用は総額約1億円。今年度計上されている地下水調査では、定期的に地下水の状況を調査することで、地下水位の測定を週1回、ベンゼン汚染の広がり具合のモニタリングを月1回行います。地下水のみ汚染されたところは、土壌中の微生物を活性化させてベンゼンを分解する

生物処理が試行されています。事業者が主張する汚染時期は2020年10月以降、汚染量は2,100Lの真偽について、市も科学的データに基づき分析しています。事故に対する市と事業者の責任割合や補償内容など、まだまだ問題は山積みですが、被害に合われた市民の立場にたった解決を求めていきます。

4 海の豊かさを守る取り組みについて (2023/12)

漁業は室蘭の大切な第1次産業。室蘭での資源管理の状況や、資源管理の大切さを市民にPRすることを求めました。水産振興のひとつとして、魚食普及があります。室蘭名物は室蘭やきとりやカレーラーメンと肉類であり、第3の名物としてホタテチリバーガー等魚類メニューを押し進めることを求めました。

CO₂の排出を削減するためにもブルーカーボンの取り組みは大切。港湾部と連携した取り組みを求めました。令和6年度予算には藻場造成の事業費が計上されました。何をすることも後継者対策が必要。スマート水産業の技術や住居への支援など、新たな取り組みを求めました。



角田市長が来蘭

2月7日に黒須市長が市内事業所を訪問するために来蘭。宮城県および角田市に縁のある方々と本輪西八幡神社を参拝、その後港の文学館で昼食会を開催しました。角田市と室蘭市は歴史的に縁が深い関係です。

すべては仙台藩が戊辰戦争に負けたことから始まります。武士として生きるためには北海道開拓しか選択がなく、角田支藩は明治2年9月に胆振国室蘭郡を支配地として命じられ、11月に拝領。翌年4月9日に第1陣・44戸51人が今の石川町と本輪西町に入植。耕作地として適していない室蘭は開拓するのも大変で、すべて仙台鍬で手起こししたとのこと。生活も大困窮。一方で、角田残留組による帰農嘆願運動が実り、石川家は室蘭郡支配を罷免。支配地は片倉（登別）と伊達の両家に分割され、移住者たちの落胆、失望は大きかったといえます。それでも結束し、耐え抜き、暮らしを守るために様々な事業にも着手。明治7年に角田市に鎮座す

る磐都嶺八幡宮のご分霊を勧請。これが今の本輪西神社であります。

開拓のリーダーは添田龍吉、泉麟太郎兄弟。麟太郎は明治21年に同志24名で今の栗山町に入植。龍吉は室蘭開拓の祖、麟太郎は栗山町開拓の祖と呼ばれております。角田市と栗山町は昭和53年に姉妹都市に。令和4年に行われた室蘭市市制施行100年開港150年の式典には、角田市教育長・副市長、栗山町長がご出席。室蘭市・角田市・栗山町が時を経て友好的な繋がりが生まれることを願っています。



2023年度 視察一覧

- 7月 埼玉県草加市 リノベーションのまちづくり
茨城県守谷市 教育改革
- 8月 奈井江町 子どもの権利に関する条例について
札幌市 LGBT施策
当別町 チャットGPT
釧路市 ビジネスサポートセンターK-Biz、
生活保護自立支援プログラム
根室市 イエナプラン教育・インクルーシブ教育

- 11月 愛媛県西予市 働き方改革を実現する
オフィスの空間づくり
- 岡山県玉野市 コミュニティ交通事業、
玉野市立病院と
玉野三井病院の統合



一緒に室蘭を良くしていきませんか？ 後援会入会のご案内

滝口ひろ子の活動を応援して下さる方
どなたでも大歓迎！

知人・ご友人のご紹介もどうぞよろしくお願いします。
<https://forms.gle/WkRQLB1WMFbkRcpZ7>



プロフィール

滝口 紘子
たきぐち ひろこ

45歳
O型

- 本籍地／室蘭市石川町 ●現在地／室蘭市沢町
- 最終学歴／東京都立大学人文学部心理学科
- 職歴／岩手県遠野市役所、滝口信喜連合後援会
- 目指す社会／生きててよかったと思える社会
- 好きな食べ物／餃子、プリン
- 最近気になること／アールヴェーダ(白湯、瞑想など)

発行

滝口ひろ子と未来を創る会

〒051-0011 室蘭市中央町3丁目6-5 フルミチビル3F-B
TEL・FAX 0143-23-4650

メールアドレス

takihiro@crest.ocn.ne.jp

ホームページ

<https://www.taki-hiro.com/>



困っていること、
くらしの相談
お気軽にこちらまで

詳しくはHPへ
活動情報も随時更新!